

EHIME UNIVERSITY

愛媛大学

四国遍路・世界の巡礼研究センター

Research Center  
for the Shikoku Henro  
and Pilgrimages of the World



— 四国から世界へ。

四国遍路は古代に始まり現代まで続いている巡礼です。江戸時代に大衆化し、明治の神仏分離や戦後の混乱期をのりこえ、今では10万人とも15万人ともいわれる多くの人々が四国の札所を巡っています。

四国遍路には人々を惹きつける不思議な魅力があります。

四国遍路への関心は年々高まり、いまや四国遍路は四国を代表する貴重な文化遺産となっています。

愛媛大学

四国遍路・世界の巡礼研究センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3番

TEL&FAX : 089-927-9312

e-mail : henro.center.ehime@gmail.com

http://henro.ll.ehime-u.ac.jp/

## ● 研究センターの設立

愛媛大学 四国遍路・世界の巡礼研究センターは、四国遍路の歴史や現代社会における遍路の実態を解明し、世界各地の巡礼との国際比較研究を行うことを目的として平成31年4月に設立されました。

本センターでは、歴史学、文学、社会学、法律学、経済学、観光学などさまざまな分野の教員が結集し、四国遍路と世界の巡礼の学際的研究を進めるとともに、四国遍路の世界遺産登録など、地域貢献にもつとめていきます。

## ● 研究センターの組織

### ◆ 国内研究部門

四国遍路の始まりはいつなのか、なぜ札所の数は八十八なのかななど、四国遍路の歴史には多くの謎が残されています。また、現代のお遍路さんの目的は多様化し、外国人遍路の数も増えています。

「国内研究部門」では、四国遍路の古代から現代までの歴史的諸相を学際的に解明し、また現代遍路の多様な実態をフィールド調査などを通して具体的に明らかにします。

### ◆ 国際研究部門

サンティアゴ巡礼、メッカ巡礼、五台山巡礼など世界各地には数多くの巡礼があります。地域、民族、宗教は違っていても、多くの人々が聖地を目指して巡礼の旅をしています。

「国際研究部門」では、世界各地の巡礼の歴史や現在の諸様相を明らかにし、あわせて四国遍路と世界の巡礼との国際比較を行います。

**四国の文化を世界へ発信  
次世代への伝統文化継承  
四国遍路を世界遺産に！**

#### 国内研究部門

歴史文化研究班  
現代社会研究班

日本史 日本文學 社会学  
法律学 経済学 観光学

学際的研究  
実践的教育  
地域連携

#### 国際研究部門

アジア史 東南アジア史  
西洋史 英米文学

他大学、官公庁  
博物館、霊場など



学生と歩く遍路道（今治市）



愛媛県歴史文化博物館と共同研究